

高齢者や障害者への適切な対応やマインド習得を目指して

JINS 社員が「ユニバーサルマナー検定 3 級」を取得しました

株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）では、高齢者や障害者への適切な対応方法を習得するユニバーサルマナー検定を 2019 年 3 月 5 日（火）に東京本社にて実施。社員 85 名が受検して、3 級を取得しました。



誰もが快適に
過ごしていただける
店舗を目指して

ユニバーサルマナーとは、一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（大阪府大阪市、代表理事：垣内俊哉）が提唱している概念で、自分とは違う誰かのことを思いやり、適切な理解の下、サポートをさりげなく実践することを意味します。

JINS は日本で一番多くのアイウェアを販売している企業として、誰もが快適に居心地の良い時間を過ごしていただける店舗づくりを目指しています。

そしてこの度、高齢者や障害者への適切な対応方法やマインドを習得し、店舗や社内へユニバーサルマナーを広げていききっかけにしたいとの思いから検定を実施。検定には、代表取締役 CEO 田中仁をはじめ、本社社員や、エリアごとに店舗運営を統括するエリアリーダーの社員が参加。講義やグループワークを通し、ユニバーサルマナーのマインドや基本のお声かけ方法を習得しました。JINS はこれからも、誰もが快適に過ごしていただける店舗づくりに取り組み、JINS らしいブランド体験を創出してまいります。



垣内俊哉氏による講義



グループワークで演習に取り組む社員